

# 芙蓉会会報

編集・発行人 学校法人 横浜清風学園

芙蓉会

## 第36号

学校法人 横浜清風学園 芙蓉会

〒240-0023

横浜市保土ヶ谷区岩井町447番地

TEL: 045-731-4361(代)

FAX: 045-716-0202

http://www.y-seifu.ac.jp/

印刷所 株式会社 横濱大氣堂

横浜市中区真砂町4-40

TEL: 045-641-4161

FAX: 045-664-2483



## 卒業生の皆さまへ 会長 安田 節子

同窓会会員の皆様におかれましては益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の

流行は私達に自粛生活やマスクの着用を強要し、社会経済を混乱させ、子供達の学校生活をも蝕んでおりました。まだまだ予断を許さないコロナ禍ですが、少しずつ世の中は落ち着きを取り戻しつつあります。

そんな中にもロシア軍によるウクライナ侵攻は、市民を虐殺し恐怖を突き付け、その惨状が

ら世界情勢は泥沼化の兆しです。

2022年新年度を迎えた学校の現状は、学校生活が徐々に通常に戻りつつあります。

保護者の方々からの仏教主義への期待は大きく、智慧と慈悲を説く教育目標の下に健全な生徒の育成と魅力ある学校づくりが行われています。

進学率とその実績も上昇し、難関校突破への努力を続けておられます。新校舎建設から10年が経過し、今後も校舎の美化を継続しつつ、時代に応じた設備

の充実も計画中です。

制服のジェンダーフリーも考えられています。

同窓会が卒業生の皆様の心のよりどころとなるように、親睦交流を深めるイベント企画も、コロナ禍で中断したままですが、会報誌を通じて積極的な情報発信を心がけてまいります。

来年は創立百周年を迎えます。

新しい時代に向けてさらなる新風を期待して、母校の益々の発展を願ってやみません。



## ごあいさつ

校長

植野 法穂

横浜清風高等学校では過去2年間、新型コロナウイルス感染

防止のために、多くのエネルギーを割いてきました。お陰様で、校内でのクラスターの発生もなく、授業も年間を通して滞りなく行うことができました。しかし、学校行事のほとんどが中止となり、生徒にとっては、青春の輝く思い出の半分を残すことができなかった事が残

念です。

そんな中、新年度4月以降、コロナ感染状況も落ち着きを見せました。「今年は、学校行事や授業を含めて、できるだけコロナの前に戻そう。」と教職員とも確認をして、感染対策をおこないながら、なるべく普段通りの授業、行事をおこなうようにしています。

5月下旬には、3年ぶりに1

年生が高野山研修旅行を実施しました。3年生も、富士急ハイランドへ日帰り旅行をおこないました。6月には体育祭を久しぶりに開催しました。

今年1年、生徒が健康で充実した楽しい高校生活を何とか送って欲しい。勤行で十一面観音さまに手を合わせて祈っています。

## Information

～インフォメーション～

### 《文化祭 9月23日(金)祝について》

来校者をコロナ感染対策の為、制限しています。

◆ 同窓生の来校もできません。

### 《同窓会バス旅行について》

◆ 今年度の同窓会バス旅行は中止とさせていただきます。

### ■ 学校説明会

10月22日(土)・11月12日(土)・11月26日(土)

10:00～11:15 / 13:30～14:45

12月3日(土)

13:30～14:45

### ■ 夜間相談会

11月18日(金)

17:30～19:00

### ■ 個別入試相談会

11月28日(月)～12月2日(金)

10:00～18:00

※ご来校の際は、感染予防をお願い致します。 ※説明会等の参加にはホームページからの事前予約が必要です。

※掲載している内容に変更がある場合には、ホームページにてお知らせします。

## 平成30年度卒業生 教育実習生として母校へ

(実習期間6月6日～6月24日)

東海大学 文学部 歴史学科

浦島 大輔

久しぶりの母校で、お世話になった先生方とお話することができて嬉しかったです。

帝京大学 文学部 史学科

角田 昇平

常に変化していく教育に対して、教員自身もスキルアップする必要性を感じました。

日本大学 理工学部 物理学科

館岡 康生

多くの生徒が私に明るく、元氣よく話しかけてくれたお陰で実りある三週間でした！

玉川大学 文学部 英語教育学科

椿 凜花

ITCの導入が大幅に促進されており、授業形態の幅が広がっていることに驚きました。

埼玉学園大学 人間学部

人間文化学科

友野 太陽

四年間で変わった所、変わらなかった所があり、新鮮さと懐かしさを同時に感じられました。

帝京平成大学 ヒューマンケア学部

柔道整復学科

村井 和雅

教育実習として母校に戻って



きて貴重な経験ができました。この経験を活かしていきたいです。

東京女子体育大学 体育学部

体育学科

服部 夏笑

不安でいっぱいだった教育実習でしたが、生徒と関われたことがとにかく楽しかったです。

日本大学 生物資源科学部

応用生物科学科

保坂 珠風

母校での教育実習は、とても貴重な経験で、沢山学ぶことができた三週間でした。

東京女子体育大学 体育学部

体育学科

洞下 実亜

大変なこともたくさんありましたが、とても楽しく充実した実習期間を送ることができました。

帝京大学 教育学部

教育文化学科

堀江 亮祐

実際の教育現場で多くの事を吸収し、充実した三週間でした。



## 卒業生 母校で活躍

保健体育科

清水 海周

(平成二十六年卒業)



平成二十六年に卒業し、令和二年度から保健体育科の教員として勤めております。

在学中は陸上競技部に所属し、全国大会出場を目指して日々部員の仲間達と練習に励んでいました。

母校で教員になりたいと思っ

たきっかけは、顧問である高橋先生をはじめ、関わらせていただいた諸先生方からの教えにあります。その教えは、「人との縁」

保健体育科

田中 樹理

(平成二十九年卒業)



平成二十九年に横浜清風高等学校を卒業し、今年度から保健体育科の非常勤講師として勤めています。

在学中は、ソフトボール部に所属し、手塚先生、荒木先生、大石先生の下で練習に励み、技術面や人間性など沢山のご指導をいただきました。私自身の高校生活を振り返ってみれば部活動と勉強に追われていた三年間でしたがとても充実していたな

## お世話に

なった

先生方から

## 追想と感謝

副校長 濱田 将



この度、四十三年間に亘る教員生活に終止符を打ちました。これまで勤めあげられたのも諸先輩、同僚、多くの生徒の皆さんのお陰と感謝しています。振り返ってみると楽しかった事も辛かった事も走馬灯のように甦ってきます。

私には新任の頃から心掛けていたことがありました。それは現在も大会議室に掲げられている「教育は根気也、根気は愛也」という言葉です。この至言は当時の教頭先生からご享受頂きましたが、以来苦悩を重ねながらも教員人生の根幹におき努めてまいりました。

最後に令和二・三年度の卒業生の皆さんは新型コロナウイルス感染症防止対策の煽りを受けて残念な学校生活を強いられましたが、それでも皆さんは「制約の中での自由」を一致団結してやり遂げました。「同じ時代に同じ環境で、同じ時間を共有し

た仲間」です。いつの日か色褪せることのない高校時代の思い出として語り合ってください。頑張り！マスク・黙食時代。

## 長く続ける事



養護教諭 有吉 邦子

私が横浜清風高等学校にお世話になってから四十二年の月日が流れてしまいました。

最初は学校の事もあまり知らない状態から始まり、長年いらした先生方にいろいろと教えていただきました。学校の事を知っていくにつれ、仕事にも慣れていき、一年の流れが掴めるようになっていきました。

一つの事を長く続けて行くのはとても大変な事です。だからこそ、続けていけた事が自分の糧となって生きて行くと思えます。

皆さん方が、趣味でも、仕事でも、何でも良いので、長く続けられるものを見つけれられると良いと思います。

陰ながら応援しています。

## 「感謝」



英語科 露木 毅

あつという間の七年間、多く

の人に出会えました。自分が今まで生きてきた環境とは全く違う価値観にも出会えました。全てが縁であり、僕の財産です。ありがとうございます。

君たちはこれからの素敵な夢をもっていることでしょう。

夢を夢で終わらせないでください。頑張れば必ず結果は付いてきます。大人になっても同じことです。今の自分に満足しないでください。いつも誰かが応援しています。

そして最後に、

「君の笑顔にありがとう」。

## 第3の故郷



理科 奥平 遥香

生まれ育った場所が第1の故郷、初めて一人暮らしをして大学時代を過ごした場所が私にとっての第2の故郷です。

横浜清風高等学校を離れ、他校に勤め始めた今、第3の故郷は横浜清風高等学校だと胸を張って言えるようになってい、と思うようになりました。

多くの先生方、保護者の皆様、そして生徒たちに支えられ、助けてもらってばかりだった六年間。本当にお世話になりました。六年間クラス担任をやらせていただけたこと、一回ずつの高

野山研修旅行と修学旅行、三回の卒業式を経験できたこと、たくさんの素敵な先生方、素敵な生徒たちに出会えたことが、私を成長させてくれました。

第3の故郷は、横浜清風高等学校だと胸を張って言えるように、新天地でも経験を活かし、さらに努力を重ねながら頑張っていけます。

今までに出会った皆様に心から感謝しています。短い間でしたが、ありがとうございます。

## 令和三年度 退職者

- ※青井 奈緒美 (保健体育科)
- ※磯野 洋平 (英語科)
- ※高橋 奈津子 (養護)
- ※中川 祐季 (数学科)
- ※深沢 篤子 (理科)
- ※藤井 有香 (理科)
- ※前田 沙也加 (家庭科)
- ※松田 和佳奈 (S P)
- ※松本 秀次 (国語科)
- ※マニングス (英語科)

## 訃報

- ◆佐藤 義明 事務長  
令和四年二月ご逝去
  - ◆昭和六十二年〇平成六年勤務
  - ◆遠藤 信 事務長  
令和四年二月〇逝去
  - ◆昭和四十八年〇平成十七年勤務
  - ◆大胡 隆行 先生 (英語科)  
令和四年四月〇逝去
  - ◆昭和五十九年〇令和二年勤務
- 謹んでお知らせ申し上げますと共に、ご冥福をお祈り申し上げます

## 大胡先生を偲んで

今井 康弘

職員室内、大胡先生の周囲は常に笑いに包まれていた。周囲を和ませ、人を惹きつける魅力のある人だった。

生徒の前に立てば不正不条理を決して許さず、後で自身の血圧が上がって具合が悪くなるほど生徒を諭す場面を何度も見た。しかし、それらは全て愛情溢れる説諭のため生徒は納得してその後しっかり更生した。大胡先生の言葉で大きく道を外さずに済んだ卒業生は何人もいるに違いない。

中学生になったばかりの私の息子は、大胡先生に二、三回しかお会いしたことがないが、死の二報を聞いたとき涙をポロポロ流していた。未だ身内を亡くしたことがない息子にもその命をもつて人間の死というものをお教えていただいた。

ふがいない私も大胡先生の独特の言い回しで何度も叱咤激励を頂戴した。どれだけ心救われたことか。

大胡先生、まだまだ長い先にまた一緒にメシでも食いにいきましょう。その時までしばしば別れです。

## 遠藤先生を偲んで

伊藤 美千代 (旧姓竹内)

私にとって遠藤さんは、中学の先輩であり恩師であり上司でもあり、とても尊敬の出来る身近で大切な人でした。

私は遠藤さんのそばで働いていた事もあり、OG会のパイプ役をさせて頂いておりました。

遠藤さんは、明倫高等学校ハンドボール部を何年もの間全国大会出場へ導き、私達に大舞台での活躍の場を与えて下さいました。全国で戦う為に、厳しく辛い練習や他県への遠征、合宿など多くの時間を共に過ごし、強いチームへと作り上げて下さいました。

その為に絆は深く、卒業してからも学年の枠を超えて、遠藤さんを中心にOG会を定期的に開催し、楽しい時間を共有して来ましたが、コロナ禍で集まる事ができませんでした。そろそろOG会を開こうと遠藤さんと約束していた矢先に、訃報が届きました。約束が果たせなかったことが悔やまれます。

遠藤さん今まで本当に有難うございました。いつまでも遠藤さんを忘れません。



## 令和3年度 横浜清風高等学校同窓会会計報告書

## 令和4年度 同窓会予算書

## 収入の部

R3.4.1～R4.3.31 (単位: 円)

| 項 目         | 予 算 額      | 収 入 額      | 備 考             |
|-------------|------------|------------|-----------------|
| 前年度繰越金      | 14,604,125 | 14,604,125 |                 |
| 令和3年度年会費    | 300,000    | 293,000    | @ ¥1,000×293名   |
| 令和3年度卒業生加入金 | 1,705,000  | 1,700,000  | @ ¥5,000×340名   |
| 郵 送 代 補 助   | 0          | 450,000    | 学校より会報送料一部補助    |
| 預 金 利 息     | 900        | 202        | 定期預金 173円 普通29円 |
| 収 入 合 計     | 2,005,900  | 2,443,202  |                 |
| 合 計         | 16,610,025 | 17,047,327 |                 |

## 支出の部

| 項 目       | 予 算 額      | 支 出 額      | 備 考                         |
|-----------|------------|------------|-----------------------------|
| 行 事 費     | 250,000    | 0          | コロナウィルス感染拡大防止のため、行事は全て中止    |
| 慶 弔 費     | 50,000     | 44,000     | 卒業式生花代・遠藤信先生逝去生花代           |
| クラブ援助費    | 200,000    | 210,000    | 陸上・バトン・男子バスケット・吹奏楽 (関東大会以上) |
| 通 信 費     | 800,000    | 718,987    | 11,349通                     |
| 会 議 費     | 100,000    | 117,119    | 幹事会昼食・茶菓・交通費                |
| 名 簿 整 理 費 | 70,000     | 30,510     | コンピュータ作業 (登録・変更等)           |
| 会 報 費     | 1,000,000  | 917,195    | 会報印刷・振込用紙・封筒 他              |
| 事 業 費     | 600,000    | 547,530    | 3年度新入生数珠袋341名・HP更新          |
| 振替受払手数料   | 10,000     | 8,580      | 会費振替受払手数料 (郵便局)             |
| 幹事総会費     | 300,000    | 108,011    | コロナウィルス感染拡大防止のため書面開催        |
| 支 出 合 計   | 3,380,000  | 2,701,932  |                             |
| 次年度繰越金    | 13,230,025 | 14,345,395 |                             |
| 合 計       | 16,610,025 | 17,047,327 |                             |

## 収入の部

R4.4.1～R5.3.31 (単位: 円)

| 項 目         | 予 算 額      | 備 考        |
|-------------|------------|------------|
| 前年度繰越金      | 14,345,395 |            |
| 令和4年度年会費    | 300,000    | 1,000×300名 |
| 令和4年度卒業生加入金 | 2,080,000  | 5,000×416名 |
| 雑 収 入       | 200        | 預金利息、他     |
| 合 計         | 16,725,595 |            |

## 支出の部

| 項 目       | 予 算 額      | 備 考               |
|-----------|------------|-------------------|
| 行 事 費     | 250,000    | 文化祭模擬店・ホームカミングディ  |
| 慶 弔 費     | 50,000     | 卒業式生花代・香典         |
| クラブ援助費    | 300,000    | 関東大会              |
| 通 信 費     | 800,000    | 会報郵送料             |
| 会 議 費     | 100,000    | 会議用茶菓代・交通費など      |
| 名 簿 整 理 費 | 70,000     | 新規会員登録料・データ修正     |
| 会 報 費     | 1,000,000  | 会報印刷・封筒・振込用紙他     |
| 事 業 費     | 800,000    | 新入生数珠袋 566名・HP更新料 |
| 支 出 合 計   | 3,370,000  |                   |
| 次年度繰越金    | 13,355,595 |                   |
| 合 計       | 16,725,595 |                   |

上記の通り報告いたします。

令和4年3月31日

台帳と相違ないことを確認いたしました。

会計監査

浅野由里

令和4年度  
会費納入のお願い  
年会費 1,000円

※同封の振込用紙にて、12月末日までにお振込をお願いいたします。  
 ※住所変更などございましたら、振込み用紙の通信欄でお知らせください。  
 (振込用紙以外(メール、お手紙等)での変更のご連絡は、  
 卒業年度・生年月日を必ずご記入ください。)



## 同窓会芙蓉会ホームページ

ご存じですか? 横浜清風高等学校のホームページ  
 のなかに同窓会のフォームがあります。  
 過去の会報や懐かしの校歌も聴くことができます。  
 これからもホームページを活用し、同窓生の皆様に  
 役立つ情報を発信していきたいと思ひます!


<http://www.ys-fuyoukai.jp>


## 編集後記

念願だった創刊号が、昭和63  
 年に発行され、少数の校内幹事  
 が持ちまわりで担当し、今年も  
 無事36号が発行されました。

コロナ禍で、全ての社会活動  
 が見直しを迫られている今、同  
 窓会の活動にも変化が生じてい  
 ます。情報の多さに目まぐるし  
 い昨今、ちょっとアナログな会報  
 に目を通し、母校を身近に感じ  
 ていただければ嬉しく思います。

36号を発行するにあたり、原  
 稿を寄せてくださった皆さまに  
 心より御礼申しあげます。

幹事 吉田